

令和8年度入学者一般選抜入学試験問題

(C日程 国際地域学部)

小論文

注意事項

- 1 試験時間は、午前10時から午前11時30分までである。
- 2 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 3 この試験では、問題冊子(4ページ)、解答用紙3枚及び下書き用紙1枚を配付する。
- 4 試験開始の合図があつてから、解答用紙に受験番号を必ず記入すること(氏名の記入は不要)。解答用紙は3枚あるので、必ず3枚すべてに記入すること。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に縦書きで記入すること。所定の解答欄以外に記入した解答は無効である。
- 6 問題冊子及び解答用紙にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 7 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。
ただし、具合が悪くなつた場合、トイレに行きたくなつた場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 8 試験終了の合図があつたら直ちに筆記用具を置くこと。
- 9 試験終了の合図があつて筆記用具を置いたら、机の上に問題冊子と下書き用紙を重ねて置き、その上に表おもてにした解答用紙を問一の解答用紙が上になるように重ねて置くこと。
- 10 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

次の文章を読んで設問に答えなさい。

著作権の都合上、問題本文は掲載しない。

著作権の都合上、問題本文は掲載しない。

著作権の都合上、問題本文は掲載しない。

著作権の都合上、問題本文は掲載しない。

平野千果子『人種主義の歴史』岩波新書（二〇二二）より

ルビの一部と傍線・脚注は出題者による。

原著における小見出しは省略している。

設問

問一

傍線部（二）で著者は「この言葉を避けることがより問題の核心に迫れるというわけではない」としているが、それはなぜか。著者にとっての「問題の核心」が何であるかをふまえつつ、本文の内容に即して二〇〇字以上三〇〇字以内で説明しなさい。

問二

上に引いた文章は『人種主義の歴史』の序章である。同書の終章で、著者はふたたび日本の状況に言及し、「日本には差別はないという声すら耳にすることがある」と述べている。「日本には現在、人種差別はない」という主張はなぜ、どのように誤っているのか、五〇〇字以上八〇〇字以内で説明しなさい。論述にあたっては、傍線部（二）の「人間の種は一つであり、その意味で基本的に『人種はない』という立場」に立脚し、日本における差別に特有の問題点にも言及すること。